

第3章 社会参加と生きがいづくり 【重点目標】

第1節 高齢者の生涯学習・スポーツ活動

(1) 生涯学習・文化活動の推進

【施策・事業の概要】

公民館講座、寿大学、寿大学趣味クラブ等の生涯学習教室の充実を図るとともに、趣味・文化活動の支援を図ります。

【取組状況と課題】

参加者の固定化が見られ、年々高齢化も進んでおり、幅広い参加を促進していく必要があります。

【今後の方向性】

今後も継続して寿大学を実施し、受講生の生きがいづくり、健康づくりに努めます。

公民館が中央公民館に統合された場合においても、活動の場の確保に努め、これまでと同様の活動を行えるよう調整します。

(2) スポーツ活動の推進

【施策・事業の概要】

スポーツ推進委員によるボッチャ大会の開催や軽スポーツ体験事業を実施する等、高齢者の健康保持や体力づくり、仲間づくりに貢献しています。

【取組状況と課題】

スポーツ推進委員を中心にボッチャの普及を推進し、大会の開催や体験事業を実施しています。ボッチャについては、子どもから高齢者までが参加した体験事業、大会を実施し多世代交流を図ることができました。

【今後の方向性】

引き続き、スポーツ推進委員によるボッチャ大会の開催や軽スポーツ体験事業を実施し、高齢者の健康保持や体力づくり、多世代交流に貢献します。

第2節 高齢者の就業等の支援

(1) 高齢者の就労環境の整備

【施策・事業の概要】

公共職業安定所（ハローワーク）や商工団体等との連携を強化し、高齢者の再就労のため、情報提供や職場環境改善の啓発等に努めるとともに、県や関係機関と連携し、定年の延長や継続雇用の促進等企業の高齢者雇用の啓発に努めます。

【今後の方向性】

引き続き、公共職業安定所（ハローワーク）や商工団体等との連携を強化し、高齢者の再就労のため、情報提供や職場環境改善の啓発等に努めます。

(2) シルバー人材センターの充実

【施策・事業の概要】

定年退職後等に、臨時的かつ短期的な就業等を希望する高齢者に対して、地域の日常生活に密着した仕事を提供し、高齢者の就業機会の増大を図るシルバー人材センターの活動を支援します。

【取組状況と課題】

シルバー人材センターは、高齢者の就労機会を創出してだけでなく、高齢者の生きがいづくりや生活の自立、介護予防、認知症予防、健康維持の観点からもその存在は重要であり、補助金により事業の円滑な運営を支援しています。

施設老朽化により移転先の検討が必要となっています。

【今後の方向性】

高齢者の就労を支援するため、引き続きシルバー人材センターの活動を支援していきます。

<実績値と本計画期間の計画値>

	前計画実績値			本計画設定値		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
登録者数（人）	105	105	105	105	105	105

※令和5年度は見込み値

第3節 社会活動への参加

(1) 老人クラブ活動の推進

【施策・事業の概要】

老人クラブ活動は、地域の居場所づくりを基本とし、グラウンドゴルフや輪投げ等の健康教室、絵手紙や観劇勸奨等の教養娯楽教室、友愛訪問等、お互いの健康や地域のつながりを大切にする活動を幅広く行っております。今後も老人クラブ活動の支援を継続します。

【取組状況と課題】

老人クラブ連合会及び単位老人クラブへの活動支援を行っています。コロナ禍では活動が制限されたものとなっています。また、老人クラブ自体が減少傾向にあり、活動の活性化が課題となっています。

【今後の方向性】

老人クラブが減少傾向にありますが、それぞれのクラブの実情に応じた活動を続けられるよう支援を継続します。コロナ禍で中止となっていた演芸大会等も従前のおり開催し、高齢者の交流を活発化していきます。

<実績値と本計画期間の計画値>

	前計画実績値			本計画設定値		
	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
対象者数(人)	8,652	8,524	8,500	8,380	8,300	8,150
加入者数(人)	537	496	406	400	400	390
加入率(%)	6.2	5.8	4.8	4.8	4.8	4.8

※令和5年度は見込み値

(2) 世代間交流の充実

【施策・事業の概要】

地域の集いの場や活動の拠点として「居場所」を開設し、世代間交流を促進します。

【取組状況と課題】

ボランティア団体が主体となり「居場所」の活動を実施しています。市としては、子育て支援ネットワークの活動として「これば！」を実施しています。

【今後の方向性】

市内各所に「居場所」づくりを進め、地域の集いや活動の拠点としての活用を促進するため、地域住民への啓発活動を図ります。

市としては、引き続き、子育て支援ネットワークにより、官民協働で「これば！」を実施していきます。

(3) 高齢者のボランティアへの参加促進

【施策・事業の概要】

下田市社会福祉協議会にてボランティア連絡協議会の支援を行っており、高齢者も含めてボランティアへの参加を促しています。ボランティア団体の活動支援のため、ボランティア連絡協議会に加盟する団体の施設使用料について、減免等の支援を行っています。

【取組状況と課題】

下田市社会福祉協議会にボランティアセンター機能強化事業を委託し、高齢者を含む全年齢を対象に、ボランティア活動に関する相談、情報提供、受け入れ体制の整備等を行っています。また、ボランティア活動の普及や団体の育成・支援も行っています。

【今後の方向性】

ボランティア活動の活性化に向けて、ボランティア団体の活動内容や拠点等の周知を図ります。また、自らボランティア団体の設立を希望する市民に対して、設立支援やボランティア連絡協議会への加入促進を図ります。

<実績値と本計画期間の計画値>

	前計画実績値			本計画設定値		
	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度
協議会加入団体数（団体）	28	28	27	26	25	24
団体会員数（人）	454	397	369	350	340	330

※令和5年度は見込み値